

講演 黒鉛超薄膜の合成と物性

黒鉛薄膜は、スマートフォンなどのデジタルデバイスに欠くことのできない材料であり、さらなる高性能化が求められています。産総研のグループでは、最近、スピコートしたポリマー薄膜の炭素化・黒鉛化によって黒鉛超薄膜(厚さ100nm以下)が作製できることを見出しており、数々の興味深い性質を明らかにしています。また、産総研が開発した黒鉛超薄膜は、いわゆるグラフェンの簡便な製造法にも繋がるとして注目されています。本講では、黒鉛超薄膜に関する最新の研究成果について紹介していただく予定です。

講師 曾根田 靖 先生

(産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 創エネルギー研究部門
エネルギー変換材料グループ長)

曾根田先生は、黒鉛層間化合物、カーボンナノファイバ、鋳型多孔質炭素、炭素薄膜に関して日本を代表する専門家です。炭素材料学会の編集委員長も務められており(H27・H28)、ご活躍されています。今回は本学にお招きして、黒鉛層間化合物に関する基礎(12/17)ならびに黒鉛超薄膜に関する最新の研究成果(12/8)について二日間に渡って講演していただくことになりました。皆様、奮ってご参加下さい。

2018年

12月18日 火

10:30~

講義1時間 質疑応答込みで最大1時間半

会場

総研棟506教室

対象

学生,教職員,一般参加者

主催

元素科学国際教育センター

入場無料

申込不要